

「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい様式」～(2020.8.6Ver.3)(文部科学省作成)」及び「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン～学校における新しい生活様式の定着に向けて～(茅ヶ崎市教育委員会作成)」を基に、新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、茅ヶ崎市立小・中学校における校内の消毒について、次のとおり実施いたします。

1 校内の消毒について

新型コロナウイルス感染症対策に係る校内の消毒については、児童・生徒の発達段階に応じて教職員が行う場合もありますが、基本的には児童・生徒が行う通常の清掃活動の範囲で実施いたします。

- (1) 教室やトイレなど児童・生徒等が利用する場所のうち、特に多くの児童・生徒等が手を触れる箇所(ドアの取っ手・手すり・スイッチなど)は、1日1回以上、消毒液等を使用して清拭いたします。
- (2) 床、個人の机、椅子については、掃き掃除や雑巾掛け等を行います。衛生環境が良好に保たれている場合、特別な消毒作業は行いません。
- (3) トイレや流しの消毒については、家庭用洗剤を用いて通常の清掃の範囲で行う場合は、特別な消毒作業は行いません。
- (4) 清掃時には、前後の手洗い及び十分な換気を行い、目、鼻、口、傷口等を触らないよう指導いたします。

消毒には、消毒用アルコール(エタノール)、家庭用洗剤(新型コロナウイルスに対する有効性が認められた界面活性剤を含むもの)0.05%の次亜塩素酸ナトリウム消毒液、一定の条件を満たした次亜塩素酸水を使用します。

試験で効果が確認された界面活性剤

- ▶ 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム (0.1%以上)
- ▶ アルキルグリコシド (0.1%以上)
- ▶ アルキルアミノオキシド (0.05%以上)
- ▶ 塩化ベンザルコニウム (0.05%以上)
- ▶ 塩化ベンゼトニウム (0.05%以上)
- ▶ 塩化ジアルキルジメチルアンモニウム (0.01以上)
- ▶ ポリオキシエチレンアルキルエーテル (0.2%以上)
- ▶ 純石けん分(脂肪酸カリウム) (0.24%以上)
- ▶ 純石けん分(脂肪酸ナトリウム) (0.22%以上)

ご家庭にある洗剤に、どの界面活性剤が使われているか確認しましょう

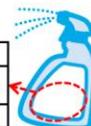
- 効果が確認された界面活性剤が使われている洗剤のリストをNITEウェブサイトで公開しています。(随時更新)
<https://www.nite.go.jp/information/osirasedetergentlist.html>



- 製品のラベルやウェブサイトなどでも、成分の界面活性剤が確認できます。

※製品本体の成分表は関連法令に基づいて表示されているため、含有濃度などの条件によっては、ウェブサイト上のリストと製品本体の成分表が一致しないことがあります。

品名	住宅・家具用合成洗剤
成分	界面活性剤(0.2% アルキルアミノオキシド)、泡調整剤
液性	弱アルカリ性 正味量 400ml



2 その他の感染症対策

消毒により感染リスクの低減を図ることは可能ですが、ウイルスを全て死滅させることは困難です。

そのため、消毒による感染症対策に加え、児童・生徒等に接触感染の仕組みを理解させ、様々な場所にウイルスが付着している可能性があるため、外から教室等に入るときやトイレの後、給食(昼食)の前後、可能な範囲で水と石けん丁寧の手を洗うこと、他の児童・生徒等とタオル等を共有しないこと、及び健康的な生活により免疫力を高めることについて指導いたします。

その他、咳エチケット、換気、身体的距離の確保、3つの密(密閉、密集、密接)を避けること等の基本的な対応を徹底いたします。

